



実用化を念頭においた 技術開発に勤しんでいます。

現在、大学時代にも研究していたバイオマスを用いたクリーンエネルギーの製造技術開発を行っています。建築廃材やイナカラ、古紙といった廃棄物(バイオマス)からガソリン添加用のエタノールを製造する技術の開発です。

日揮のいいところは、若手でも責任のある仕事を任せてもらえることです。時には辛いこともありますが、一

つ一つ課題をクリアしていくたびに身につくことが多く、とてもやりがいのある仕事だと感じています。

もっぱらの目標は、現在開発中の技術を完成し世に送り出すことです。この技術は、世界中にニーズがあるものなので、海外に商業プラントを建てることができるかもしれません。

うなればこれ以上の幸運はないと思

上野 義基さん

日揮株式会社
●技術開発本部
●大学院情報工学研究科 情報科学専攻修了
●明石清水高校出身 (兵庫県)



大学時代、よい友人に 出会えたことで、自分の 進む道が見つかりました。

大学時代、電子工作が得意な友人の影響で「回路設計」に興味を持つようになり、卒業後はLSIの設計・開発を行なう会社に就職しました。わが社では、アナログ回路とデジタル回路を混載した「ミックスド・シグナルLSI」の設計を行なっていますが、私はその中でもデジタル回路を中心に関わっています。

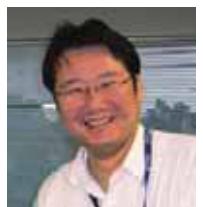
井戸川 公和さん

AKMテクノロジ株式会社
●宮崎設計開発センター 第2Gr
●情報工学部 制御システム工学科
●宮崎大宮高校出身 (宮崎県)

路設計、レイアウト、デバイス評価に携わっています。

今の仕事で最も魅力を感じているのは、「設計」そのものです。仕様を読み解き、自分なりに考え、工夫をして設計を完成させたときの喜びは、とても大きいものです。今は、決定された仕様書をもとに設計を行なっていますが、これからもっと経験を積み、仕様を作成する段階から関わっていけるようになりたいと思っています。

私は大学でよい友人に出会い、将来の方向性を決めることができました。また、大学で学んだことは確実に、現在の仕事を行なう上での重要な基礎となっています。九工大を選んでよかったです。受験生の皆さんにとって大学選びは、今後の人生を左右する大きな選択になるだろうと思います。情報だけにとらわれず、説明会などに出席して、学内の雰囲気を自分の感覚で確かめてみてください。



ベンチャー企業に挑戦。 順調に進んでこれたのも、 地域と九工大のおかげです。

私は学生時代から飯塚市をアジアのシリコンバレーにするという挑戦を続けています。当社はモバイル戦略では全国屈指の技術だと評価頂いていますが、ここまで来れたのは、大学時代からお世話になっている地域の方や優秀な仲間達のお陰です。技術力だけでは無理でした。大学時代には、技術を

学ぶことはもちろん、同時に高い実践力と、共にチャレンジする仲間を手に入れてください。九工大はたくさんチャンスがあります。行動した人だけが掴めます。応援していますよ。



OBのここだけの話
大学生生活実践マニュアル
無料配布中
<http://www.e-zuka.com/e-turn/>

正田 英樹さん

株式会社ハウインターナショナル
●代表取締役
●情報工学部 電子情報工学科 卒業



大学は、 人との付き合い方を学び、 自分自身を知る絶好の場所。

私はもともと放送局の技術系の仕事に興味があったので、就職に際して放送局向けのシステム開発を行なっている会社を選びました。現在、主に民間ラジオ放送局向けのソフトウェアの開発に携わっています。コンピュータ技術者として放送業界に関わる仕事をできることをとても嬉しく思っています。

廣田 晴美さん

西日本コンピュータ株式会社
●BRPシステム部
●情報工学部 知能情報工学科 卒業
●筑紫高校出身 (福岡県)

この仕事の魅力は、システム開発そのものはもちろん、システムに関わる様々な業界の方や仕事に触れることができます。

大学は勉強するだけでなく、人との付き合い方を学ぶと共に、自分自身を知ることができます。仕事を通して、システム開発にはプログラミングの技術だけではなく、人とのコミュニケーションがとても大切だということを実感しています。これから更にコミュニケーション能力を高め、お客様により一層喜んでいただけるシステムを作っていくたいと思っています。



目標は、 金融業界に精通した システムエンジニア。

現在、システムエンジニアとして金融機関向けプロジェクトに参画し、システム基本設計の一部に携わっています。お客様のニーズに沿った最適なシステムを提案・構築し、提供することによって、お客様の業務上の課題が解決できるといううことに、やりがいを感じています。システムは形に現れないものだからこそ、お

客様に評価して頂いたときの喜びは大きいですね。自分も社会の一員として役に立っているんだな、と実感できます。

将来的には、金融業界に精通したシステムエンジニアとなり、リーダーとして1つのシステムの開発を担当することが目標です。まずは現在関わっているプロジェクトを確実に遂行したい。そして必要な知識、技術を身につけ、一步一步着実に成長していきたいと思っています。

受験生の皆さん、九工大の情報工学

部では、情報分野における最新の技術が学べます。きっと将来に活かせると思いますよ。私自身、在学中に身につけた情報技術やプログラミング力が、今とても役に立っているんです。ぜひ一度見学されることをお勧めします。

松浦 亜由美さん

(株)NSソリューションズ
日本
●ソリューション事業部
●情報工学部 生物化学システム工学科 卒業
●下関西高校出身 (山口県)



情報爆発時代に対応する 未踏の技術開発を目指して。

現在、インターネットなどコンピュータ環境の向上によって、Webや企業のデータベースなどには、莫大な量の文字列データが蓄積されています。これを効率よく取り扱う技術が不可欠であると考え、膨大な文字列データを高速かつ省メモリで処理するためのアルゴリズムの研究に携わるようになりました。

御手洗 秀一さん

情報工学部 知能情報工学科
卒業
●明善高校出身 (福岡県)

このように、実社会からの要望に応える技術を開発すること、先進的な研究に携わり未踏の手法を考案することは、研究者にとって大きな喜びであると実感しています。

将来の目標は、高速性はもちろん、負荷に耐え、より運用しやすい世界のXMLデータベースシステムを開発すること。ひいては情報爆発時代に対応できるような情報処理手法を提案できればと思います。